

## 「女性が活躍できるまちづくり」 2日目

### 賃金／労働

- ・ 1つの職にこだわらない働き方、学生にアルバイトの許可を
- ・ 子育て中の方への就労時間の配慮、キャリアアップ、様々な選択ができる環境づくり

### まちづくり

- ・ シェアハウス（子どもから若者、高齢者が関わりながら助け合って暮らせる場所）
- ・ バスを利用しやすくすることで買い物支援につながる
- ・ 女性が楽しく過ごせる場づくりや妊産婦などが孤立しないようなコミュニティづくり
- ・ 女性リーダーの育成や活躍している人とのネットワークづくり
- ・ 女性の団体、女性グループの育成、活動支援
- ・ 防災面における女性の意見の反映（避難所では、女性が男性に相談しにくいことがある）
- ・ 防災会議のような正式なものではなく現場の様々な女性の声を気軽に聴ける場をつくる

### 学び

- ・ 男女に関係なく、子どもの家庭教育を充実することが大切
- ・ ワーク・ライフ・バランスへの理解促進（セミナー・ワークショップの開催）
- ・ 子どもの視野に入る人だけでなく、その外の人に会える機会をつくる（幅広い職業や文化に触れる機会）
- ・ 女性の資格取得に向けた講座の開催（市民団体では継続的な実施が難しい）

### 子育て

- ・ 女性にとって結婚、妊娠、出産は大きな転換期であり、ライフステージにあせた支援
- ・ 男性も家事やその後の育児など、産前に知っておくことが大事
- ・ 産前産後ケア、家事支援への補助制度（申請ではなく、チケット配布によって使いやすいものとする）
- ・ 高山市は、子育て支援が充実。子育て支援金など、子育てしたいまちとしてPRすべき
- ・ 小1プロブレムが存在。学童保育がパンクしている
- ・ 不登校、保健室登校などが増えている。また学校に行けないため親の仕事が制約される
- ・ 杉崎公園（飛騨市）のような遊び場があるとよい
- ・ 空地でよいので遊具のない広場があるとよい
- ・ 不妊治療に関する情報発信が不足。子どもを望む方に情報を入手しやすくしてほしい
- ・ 職場での不妊治療への理解がない。行政として情報発信や取り組みが必要

### 情報発信

- ・ インターネットを使わない若者もいるため、電子と紙の両方の情報発信が必要
- ・ 高山市ホームページを視覚的に見やすく改善

### 《総括》

- ・ 結婚、妊娠、出産、子育て、介護など様々なライフイベントにおけるニーズや課題への対応
- ・ 仕事や家庭、プライベートにおいて選択肢をつくり、それぞれの選択が尊重され自分らしさが発揮できる環境づくり
- ・ 早い時期からのキャリア教育やわかりやすい情報発信